



発行所

興行寺教化部

福井県吉田郡永平寺町

電話 0776-64-2744

FAX 0776-64-2791

新田塚道場 (支坊)

福井市新田塚2丁目46-26

電話 0776-26-1191

FAX 0776-26-7868

宗祖七百五十回忌法要に向って 着々と記念事業推進

昨年はご門徒の皆様方からの懇志によって、法要の記念事業の一つである本堂の耐震補強工事が行われた。

今后、長年案であった対面所屋根瓦の葺き替え工事、本堂緑側の雪囲いテナの修理工事を行う予定。

特別工事として、本堂裏側の外壁工事を予定している。近年、芝生や庭園の整備が行われ、本堂裏口より出入可能になり、花見シーズンを始めとして、外部の方々も、多く来園される。又合宿や研修会など芝生での活動

も行われる。外壁の波トタンが錆ついたり、穴が開いたりして腐食している状態であるので、新しく張替え工事を行う予定。(これは特別に寄進で行います。)

又、岐阜県の篤信家のご寄進により、本堂正面の金箔工事を。内陣は平成十七年に、新しく金箔工事を。外陣正面は昭和五十一

の法要前に行つたま、になつており、柱に波すじがいつたり、一部鴨居の方が雨漏りで剥けている部分もある。柱、長押、鴨居、巻障子など全面

を本堅地塗り金箔工事をいう予定である。工費は六百十五万円で消費税の関係で昨夏、細川丈夫仏壇店と契約がなされた。工事は業者の仕事の関係で明年一月より三ヶ月間にわたる行われる。

法要の日程は廿八年四月二十五日を予定しているが、まだ正式には決定していない。本年一月十日現在、壹千八百拾壹万四の懇志額で、後、分割納入していただく方もあり、皆様の御協力のお陰で順調に進んでいること感謝いたします。現在支出は耐震工事千百万円である。テント工事、屋根瓦工事、法要費、記念品、お扱い費を予定しています。尊いご浄財ありがとうございます。よりお礼申し上げます。

本山・6月6日 法統継承式

来る六月六日に現ご門主から新門さまへの法統継承される式が本山で行われ

る。新門さまが、第二十五代目の門主となられ、昭和五十二年より三十七年にわた

新しい門主よりのご消息が發布される。

今后、地方の過疎化と若者の宗教離れが過速し、各寺院とも門徒数の減少になる。これは宗門としても、時代は変化しています。人々に取り入れられ、生きる力となつて欲しい。新しい門主のもと、お念仏繁昌と教団の発展を期したい。



法話 遊んでいいの！

本誓寺住職 松本 梶丸 先生



私の知っているお寺の坊主さんは、同時にそのお寺で経営している保育園の保母さんでもある。「こうして毎日、園児たちと生活していると、仏さんと一緒に暮らしているようなものです。」「そういう書きだしてはじまるお便りのなかで、ある日の保育園での次のような出来事が書かれてあった。

「先日、保育園で、おまわりさんによる交通指導がありました。幼い子どもたちへの指導ですから、ごく初歩的なことしかいえません。予定の時

間がいつぱい余りました。担当の保母さんはおまわりさんに、この園児たちは、みんな一度、パトカーに乗ってみたいと思つています。どうか園児たちをパトカーに乗せてくれないか」と、お願いしました。おまわりさんは快く引き受けて、五十人いる園児を、七、八人ずつ分乗させて、運動場をゆつくりとまわりまわした。園児たちは、あこがれのパトカーに乗って大喜びでした。それが終わってその保母さんは園児たちに、「今日はお

まわりさんに来てもらつて、いろんなことを教えてもらい、そしてパトカーにまで乗せてもらつてよかったね。これでおまわりさんともお別れですが、なにか尋ねたいことがあったら聞きなさい」と言いました。三歳になる由香ちゃんという女の子が勢いよく手を挙げて質問しました。「おまわりさん、こんなところで遊んでいるのいいの？」と。私たちが大人は、こんな質問ができるでしょうか。子どもたちの世界、なんと広く、のびやかなことでしょうか。由香ちゃんにとつて、不思議でならなかったのでしょうか。おまわりさんは、交通違反を取り締まるために、泥棒を捕まえるために一生懸命、働いている

卒業

藤枝 宏寿 先生

昔むかし 私はこの小学校に入學したもうじき卒業しますここは最後まで教えてくれます

榎本 栄一

三月は卒業式のあるころ、ふと榎本栄一さんの詩に出会いました。喜寿の頃の作品のようです。「もうじき卒業」とは何のことかわかりでしょう。人生はいろんな経験を、その経験で教えられる。そして「いいねい」に教えてくれる。ここに「教えられるのだ」という目が開けていないといけません。

とで、人生がだれでも入學する「小学校」であるという目が開けたようです。娑婆の学校には落ちこぼれがあります。この人生小学校で落ちこぼれるものはありません。ただ、だれだけ教えられるか、人によって違います。一番大事な科目を、卒業までしつかり学びたいものです。鶯の声さやかに法聞けよ

墨石 (蓮如上人取意) 探究社(閑の座)より

ホームページのご案内

昨年、興行寺のHPが新設されました。当寺の歴史をはじめ行事予定などをご案内しております。

今後は行事案内をお知らせするほか、桜の開花情報、興行寺新報なども掲載してまいりますので、どうぞご覧ください。

URL

http://www.kougyouji.jp



携帯・スマートフォンの
バーコードリーダーで
読み込んで下さい。



災害地へボランティア

田端 坪田丸美さん



東日本
大震災が
平成二十
三年三月
十一日に
起り、早

いもので三年が経った。
誰もテレビや新聞での
報道で、重大なことが起った
と認識し、悲惨な状況に啞
然としたことでした。

一昨年、昨年と当寺でも大
震災死者の一周忌、三回忌の
勤行を、ご門徒の世話方の皆
さんが集る三月の第二週の日
曜に参拝して頂き、勤めた。

当寺の門徒の坂井市春江
町田端の坪田丸美さん（元
新田塚幼稚園教諭も、テレ
ビで現地のこの状況を見て、
居ても立つてもおれない思い
で、何か無力な私にも出来
ることはないかという思い
で、どこかボランティアに参

加できる機会はないかと探
し行動に移した。
そして九回、現地でのボラ
ンティアに参加、又県内では
復興支援グッズの販売等の
イベントにも、たびたび参加
しているとのこと。



第一回は二十三年四月三
十日、岩手県陸前高田市に
行き、普門寺の物置小屋で
の炊き出しを行った。二回目
からは、仮設住宅の訪問、餅
つき会、りんご園の農作業な
ど。又公民館や集会場では、
ゲームや折り紙、絵本の読
み聞かせ等、自分の仕事（幼
稚園や保育園）を生かして
被害者の方との心の通じ合
いを行った。

二十三年二回、二十四年四
回、二十五年三回と回数を重
ねて最近では、昨十二月に
行つて来た所で、福島県の二
本松にある真宗大谷真行寺

で、裏山の落葉拾い、草刈な
ど除染活動にも取り組んで
きたそう。

福島では子供の甲状腺異
常が七割以上。ガンと診断
されたのは五十七名と、体を
悪くする人が増えている状
況である。又週末避難、離
婚、家庭崩壊、自殺など、余
り報道されておらず、現地
での状況の厳しさが知らさ
れ、深刻さを増しています。
坪田丸美さんは、
「私がこうして活動させて
頂けるのは、何より家族の理

解と協力、そして一緒に活動
する多くの仲間がいるからだ
と思います。現地に行けば、
こんな私でも待つてくれる人
がいる。私を必要としてくれ
ることに喜びを感じ、又行き
たくなるのです。現地のひと
も必ず全員が東北のことを
忘れないでいて欲しいと云わ
れます。「遠く離れていて
も、いつも思っています」
「必ずまた来ますから元気で
いて下さいね」と云つて別れ
てきます。中には個人的に
メールや手紙などの遣り取
りをしてる方もいます。今
ではまるで、遠くの親戚に会
いに行くような感じで、とて
も楽しみにしています。経
費も要りますが、旅館に泊つ
て美味しいものを食べること
などよりも、現地の人やボラ
ンティア仲間との心のきずな
が深まり、満たされた気持ち
になれるので私にとっては、
とても価値あるものなのです。
東北の人々と繋がっている
たい気持ち一杯です。一日も早
い復興を望んで微力ですが、
協力したいと思っています。」と
感想を語っていた。

坪田さんの行動は本当に
貴重な体験であり、震災
地で困っている方に手を差
しのべることは大変すばら
しいことであり、これぞ、ご
恩感謝の実践であると思
います。私達のご恩は少しは
感じるかも知れないが、なか
な報告が出来ない私では
ないでしょうか。

近年、食前、食後の言葉も
改定されたが、新しく食后
のことば中に「まずまずご恩
感謝につとめます」となつ
た。日常の生活の中でも、報
謝の生活を忘れてはいる私達
であります。感謝のお念仏
と共に「報謝の心で生き抜い
てほしい」との思いでこの一
文が入ったのではないでしょ
うか。

まだ復興にはほど遠い。一
日も早く復興されるよう
念じます。

東日本大震災により被災
された、すべての皆様に謹ん
でお見舞い申し上げます。

お便り



福井市 花川文音様
二十五回卒園生の花川文
音と申します。

幼稚園でお世話になりま
したから、二十年近く経ち
ましたのに、記憶に留めて
くださり、応援していただ
けること本当に嬉しく、心
から感謝しております。

私は今後も様々な形でピ
アノに携わっていきたく
思っています。またいつか、
ボランティアで弾かせてい
ただける機会などございま
したら是非お声かけてくだ

京都市 大森欣弥様
先日とは多忙中のごころ
訪問を、亡母二十五回忌
の法要を営んでいただき、
ありがとうございます。

その折ご鄭重なるおもてな
しや御馳走を甘受させてい
たゞ誠にありがとうございます。
久しぶり興行寺をおたず
ねして、寺院内外お立派に
きれいに整備された状況と
拝見させて頂いたゞき、あり
がたく存じました。

御住職様のお言葉のとお
り、護持管理運営が、現今
の時世には難儀は実情をふ
くんでいっていることを拝聴して
納得いたしました。

今後の御住職さまのご活
躍とお寺の発展を祈り申し
上げ微力ながら僅少の寄付
させて頂いたゞき所存です。よ
ろしくお頼み申し上げます。

福井市新田塚
黒川智代様
先日はご丁寧に興行寺新
報をお送りいただきまして

誠に有難うございました。
その上、六月の演奏会のこ
とを掲載していただき大変
光栄に思います。

新田塚幼稚園で学ばせて
いたゞいた数年間、今でも
心に残っております。いつ
も温かく見守っていただき
本当にありがとうございます。
これからも感謝の気持ち
を忘れずに精進してまい
りたいと思います。

福井市 井原淑子様
本日は思いもかけないお
便りを賜りまして誠に勿体
なく大変恐縮いたしておる
のでございます。

あの時は、余りの感動を
頂いて、お礼状の一言をし
たためねば仏様に申し訳な
いと思い、不精は筆使い、
文使いで恥ずかしく思つた
のでございますが、思い
きつて勇気を出して送付さ
せて頂きました。その上、
伝統深き貴寺の新報にお取
り上げ頂き光栄でございま
す。大自然に仏様に、御住
職様に心から感謝申し上げ
ます。有難うございまし
た。来年は四月十三日、シ
ンセサイザーを予定されて
いらしやるとの事、楽しみ
でございます。早、私の心
はワクワクと心待ち一杯で
ございます。今度は知人、
友人達を誘わせて頂いて参
加させて頂きます。

作文

土曜学校

五年 宮本 桃衣

私が土曜学校に行つて
いる理由は、うち園で
別れた友達に会えたり、
学校や家では聞けない話
を聞けたり、他の学年の
子と友達になれたりする
からです。

私が特に楽しみにして
いるのは、夏に行く児童
一泊研修です。私は、一
年生から五年間毎年児童
一泊研修に行つていま

す。今年は、私が班長で、同
じ班の子をまとめたり、夜に
花火を見たり、みんなで遊
んだり、班の子と協力して
ウオーケラリーをしたり、毎
年とて楽しい夏の思い出
になっています。

先生たちから聞くいろん
な話をわすれずに六年生
までずっと土曜学校に行き
たいです。そしてこれから
も先生たちの話をよく聞
いて、たくさんのお話を学

んで、学校などでいかした
いです。

五年 竹下 悠花

私は、一年生から、第二土
曜日に毎回土曜学校に行つ
ています。そのわけは、他で
は聞けないあみださまの話
が聞けるし、ほかの学校の子
にもあえるからです。それ
に、ほかの（ちがう）学年の
子とも、友達になれるからで
す。私は、その中でも、サ
マースクールが一番の楽しみ
です。今年は、私が班長にな
らせていただきましたので
あいさつをしたり、みんなを

まとめたりしました。とて
も楽しかったです。来年の
サマースクールも楽しみに
しています。今年は雨で、
オリンピックと花火ができ
なかったので来年は晴れて
ほしいです。私は、これか
ら、休まず、土曜学校に行
きたいです。

第六十三回全国小・中
学校作文コンクールの県
審査で低学年の部で、明
新小学校二年 豊岡凜汰
郎君（卒園児）が最優秀
賞に輝いた。「ぼくとう
み」という題。

福井市 井原 淑子様
本日は思いもかけないお
便りを賜りまして誠に勿体
なく大変恐縮いたしておる
のでございます。

あの時は、余りの感動を
頂いて、お礼状の一言をし
たためねば仏様に申し訳な
いと思い、不精は筆使い、
文使いで恥ずかしく思つた
のでございますが、思い
きつて勇気を出して送付さ
せて頂きました。その上、
伝統深き貴寺の新報にお取
り上げ頂き光栄でございま
す。大自然に仏様に、御住
職様に心から感謝申し上げ
ます。有難うございまし
た。来年は四月十三日、シ
ンセサイザーを予定されて
いらしやるとの事、楽しみ
でございます。早、私の心
はワクワクと心待ち一杯で
ございます。今度は知人、
友人達を誘わせて頂いて参
加させて頂きます。

福井市 井原 淑子様
本日は思いもかけないお
便りを賜りまして誠に勿体
なく大変恐縮いたしておる
のでございます。

あの時は、余りの感動を
頂いて、お礼状の一言をし
たためねば仏様に申し訳な
いと思い、不精は筆使い、
文使いで恥ずかしく思つた
のでございますが、思い
きつて勇気を出して送付さ
せて頂きました。その上、
伝統深き貴寺の新報にお取
り上げ頂き光栄でございま
す。大自然に仏様に、御住
職様に心から感謝申し上げ
ます。有難うございまし
た。来年は四月十三日、シ
ンセサイザーを予定されて
いらしやるとの事、楽しみ
でございます。早、私の心
はワクワクと心待ち一杯で
ございます。今度は知人、
友人達を誘わせて頂いて参
加させて頂きます。

福井市 井原 淑子様
本日は思いもかけないお
便りを賜りまして誠に勿体
なく大変恐縮いたしておる
のでございます。

しだれ桜コンサート

永い冬も終りに近づき、春の足音もすぐ側まで聞えてきそうな候となった。しだれ桜はいつ頃、咲くかと、待ちわびている。さて、今春の花見コンサートは四月十三日(日)午前十一時半より行われる。今回は、ピアノ・シンセサイザーの演奏で、福井市在住の東忠孝氏と共に楽しんでいただきます。氏はFBCの音楽番組のFBCポップスの編曲や演奏を始め、五木ひろしを始めプロ歌手の伴奏を務めて

きた。現在は沖縄県において毎月の演奏や講演会の講師として活躍中です。当日は、中広く歌謡曲・演歌・童謡など色々な部門の曲を演奏する。約時間半の予定。昨年は桜が散ってしまいい残念でした。今春はどうでしょうか。多くの方々のご来寺をお待ちしています。



待ちしています。地元の「我流そば」「飲物コーナー」今年より模擬店をとの声があり、恐竜グッズの販売も行う予定です。

上志比小学校二年生 お寺へ

秋十月八日、地元上志比小学生二年二十二名が先生と共に興行寺を訪れ、本堂でお参りお話を聞き、華の蔵、庭園を見学した。

感想文を、送って下さったので紹介します。

仲村 ゆきな

わたしは、てんじょうの絵がきれいな色で、とてもきれいでした。こう行寺では、ざんげはないのかなーって思っていました。でもざんげは、しないってとてもわかりました。今日はとても、いいおべんきようになりました。

清水 かれん

こうぎよう寺のたてもの、とてもふるいんだなーと思います。いちようのはが、じゅうたんになつていてところをぎひみてみたいなと思いました。



多田 あらた

今日はありがとうございました。いろいろな話とか、ものを見せてくれてありがとうございました。あと、しだれぎくらのトンネルみたいな

「喜楽会」一行 参拝

去る十月二日、喜楽会のメンバーが当寺に参拝された。

喜楽会とは、妙延寺第十二代、喜楽院秋貫通師は、明治二十三年に漢文「真宗宝典」を編集出版し、その漢文一冊を多くの有志と共に和文にし、漢文の部と和文の部と二冊構成に仕上げた。喜楽会は、その刊行作業に関わられた有志諸先代

たんぼ りり

ところをいかせてもらってありがとうございました。

ジャクリンなみ

わたしは、いままで興行寺に入ることがなかったけど、今日はじめて、けんがくさせていたいて、とてもいいおべんきようになりました。いろいろなことをけんがくして、これからも、いっぱいふれあうことができるといいなあとと思っています。今日はほんとに、いいべんきようになったと思います。

南部 なつき

きようは、べんきようになりました。わたしは一回いたことがありますが、はなのくらの中はみたことがないのでたのしかったです。

あおい

わたしはこうぎようじにいて、すごいと思ったことは一四〇六年にできたことをはじめてしました。わたしはげんかんへくつをはいてか

に習い、現代の有縁の者が研鑽をする会。

当寺にゆつくり参拝の後、北陸地方に残る越前の道場を見たいとの要望により一行は竹原の厳教寺道場を訪ねた。

リーダーの東京の松本順昭師は「福井の皆さんの日々の御尽力に接し御法義繁盛の基盤を拝見させて頂きました。

今、日本社会の大変動期を迎えているように存じます。この際、歴史に目配りすることの肝要さに、宗門全体が深く気付かねばならないと愚考いたします。ご法義を今迄しっかりと支えて下さった。いわゆる真宗地帯の歴史に学ばせて頂くことを大切にしたいと存じます。」と。

叙勲

門徒総代の山田勝久氏(七十九才)が秋の叙勲の教育功労で瑞宝双光章を受章。氏は各小学校長など歴任して、旧上志比村の教育長を務めた。

百才塾とun

勝山市旭町の花山久太郎氏、荒土町新保の西脇さくゑさんは百才を迎え、総理大臣より記念品とお祝のことのばの状を送られた。おめでとう。

全日本クロスカントリー

スキーレースが一月八日札幌で開かれ、門弟子弟の勝山高校の宇田彬人君が少年男子フリー十キロで優勝した。おめでとう。又日本代表でノルディック世界ジュニアにも出場。今后益々の活躍を期待する。

松枯

松くい虫が発生し、蓮如上人像前の松木の葉が赤く枯れてきたので、秋に切り倒し、上人像の後の松も半分位、被害を受けている。防虫の方法はないものか。

池の工事

裏庭の池の水もれが、最近ひどく、夏など、カラカラに干し上がってしまう。昨秋、水もれを防ぐ工事を行った。

住職雑記

▽今冬は大雪との噂であったが、今の所、寒さは厳しいが雪は少ない。東京では二十年ぶり二十センチ以上の積雪が二回もあった。

▽冬期(十二月より三月まで)お講が行われるが、参詣のメンバーも昨年と比べると、常連の方が亡くなり、さみしくなったが、新しく二名の方がお参りいただき、六名の常連が出来にぎやかになった。お説物は以前は坊

守の役目であったが病氣療養中の為、今は住職がつとめ、皆さんとの会話を楽しみにしている。

▽上志比より、永平寺町光明寺、谷口地区を通る道路が昨七月十七日に開通し、踏切も信号もなく、幼稚園に行くのにも十分短縮された。車の流れも国道より、大野方面からの高速と連がり、交通量が増えた。途中、松岡地区は工事中が多く、時々道が変更になる。もう少しで高速と直結する。

▽「禅の里」という温泉が地元に出た。よい湯とのことだが、まだ入ったこと

はない。真宗門徒の多い所にありながら「禅の里」とは、どうかと思う。「志比の里」とすべきでなかったかと思うが、いかがか。

亡くなられた方々

義岡マツイ	100歳	川崎市
竹内 範男	82歳	勝山
三田千代三郎	94歳	針原
多田 武士	88歳	福井
石井 正二	79歳	谷口
山田八重子	85歳	藤巻
中村 清治	90歳	勝山
山田 実	87歳	藤巻
櫻町 誠一	84歳	勝山
櫻町 要	88歳	山崎
関 幸之助	86歳	郡区
柳原 正栄	6歳	鷲塚
中村 宗夫	95歳	片瀬
南保 巖	87歳	藤巻
竹内 君子	81歳	勝山
山田あさを	91歳	藤巻
竹原サチ子	85歳	大阪

永代経懇志 (信徒)

反保 久司殿	母の	中島
石井さきを殿	夫の	市荒川
酒井 國男殿	母の	竹原
酒井由美子殿	夫の	竹原
酒井 壽一殿	父の	浅見
鈴木 勝栄殿	母の	山王
酒井 一男殿	父の	竹原
朝井 民治殿	父の	中島
嶋田 昭高殿	母の	竹原
酒井 剛士殿	父の	竹原
南部 健治殿	父の	藤巻
齊藤 幸彦殿	母の	竹原

特別永代経

保田 清子殿	齊藤 久子殿
--------	--------

「まことの保育」を受けて

年長児保護者アンケートより

少しずつですが、会話の中にも自然と、「すべてのものに命がある、だから大切にしないとだめなんだよ」と言う言葉を娘から聞くことも多くなってきました。きらいな物や食べ残しも、命を頂いていることを話すに残さないうちも、頑張つて食べるようになったってきました。

毎年お盆になると、主人とお墓そうじを二人で行っていますが、今年はもうお手伝いもできるだろうと言うことで、一緒に行きました。そうじをする前になぜお墓そうじをするかなど話し、そうじを始めるという一生懸命そうじをしながら「いつも命がうとうと」と言葉に出しながらそうじをしている娘が：そしてそうじが終わるとしっかりと自分から手を合せていることに感動しました。

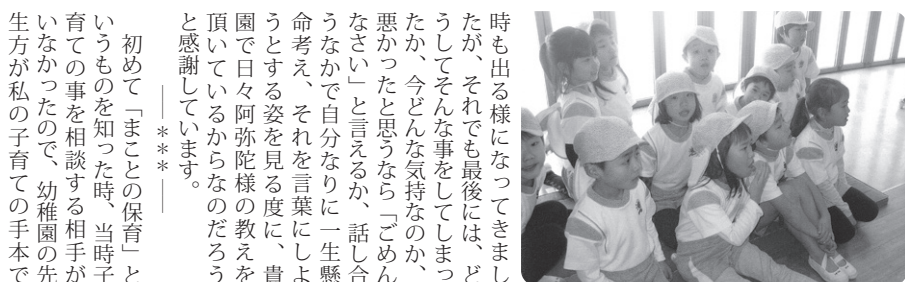
外出先でも、おじょうや

やほとけ様を見つけると自然と手を合わせられることにもおどろきました。

私自身も仏教園の保育園に通っていました。ここまではいいのですが、こ

に通過していきながら、手をお合はせすることによって大切なことだと改めて思いました。恥ずかしな

子供から教わることもたくさんありますが、幼稚園で教わったことしつかり学びながらも、これからは命を頂いたことに感謝しながら一日一日を大切に過ごそうと思っています。



時もある様になってきました。右も左もわからず、何が正しいのか、どうしたらいいのか、手さぐりだった私にとつては本当にすべてがありがたかったです。

「ありのままでいい」「泣いてもいい」「大人の弱みを子供にさらけだす」「どれも私の今まではないワードでした。でもそのおかげでとても救われました。子供が、というよりは母である私が「まことの保育」を知って子育てに生かしている事が、子供たちにも結果的に良い事なのだと思ふと、本当に感謝の一言しかありません。

今でも忘れられないのが、娘がまだ年少の頃に妹を叩いた時に私との会話の中で出てきた言葉です。

叩いてばかりの娘に「手は何のためにあるの？ 妹を叩くため？」と聞いたところ、「：手をお合はせるため。」「という返事が返ってきたのです。おえかきするため、ごはんを食べるため、など他の日常的な事を言うと思つていたので、驚いてしまった。しかるどころか、す

卒園を迎えて

母の会長 藤井 敏 絵

新田塚幼稚園にご縁を頂いて九年。新田塚幼稚園で過ごす最後の年に、H25年度、母の会長を務めさせて頂けたことに、ご縁を感じております。そして、本年後も残りわずかとなりましたが、今年もたくさんの方の行事を無事に終えることができたのも、母の会会員の皆様のご理解とご協力のおかげであり、また

母の会役員の皆様のお力添えあつてのこと、支えて頂いた事に感謝しております。本当にありがとうございます。

今までは思い返してみると、子供以上に不安を感じながら始まった幼稚園生活も、毎日楽しく幼稚園に通う息子に後押しされていたように思います。また、母の会の役員をさせて頂いたお

蔭で、たくさんの方々と出会い、たくさんの方に気づかされ、こうして振り返るきっかけをたくさん頂きました。ついつい目に見えるものばかりをみてしまう私ですが、子供達の頑張りや思いを一緒に感じ、子供達の成長を間近で見ることの出来た経験は、子供達がいるからこそ味わえる感動や喜びであり、母とならせて頂けた事に感謝の気持ちでいっぱい

です。まもなく、年長の息子が卒園となりますが、あたり前なことなどないというのを忘れず、これからも

「ありがとう」と「おかげさまで」の気持ちで過ごしていきたいと思つています。

最後に、母の会の役員をさせて頂いたお蔭で、たくさんの方々と出会い、たくさんの方に気づかされ、こうして振り返るきっかけをたくさん頂きました。ついつい目に見えるものばかりをみてしまう私ですが、子供達の頑張りや思いを一緒に感じ、子供達の成長を間近で見ることの出来た経験は、子供達がいるからこそ味わえる感動や喜びであり、母とならせて頂けた事に感謝の気持ちでいっぱい



「ありがとう」と「おかげさまで」の気持ちで過ごしていきたいと思つています。

最後に、母の会の役員をさせて頂いたお蔭で、たくさんの方々と出会い、たくさんの方に気づかされ、こうして振り返るきっかけをたくさん頂きました。ついつい目に見えるものばかりをみてしまう私ですが、子供達の頑張りや思いを一緒に感じ、子供達の成長を間近で見ることの出来た経験は、子供達がいるからこそ味わえる感動や喜びであり、母とならせて頂けた事に感謝の気持ちでいっぱい

最後に、母の会の役員をさせて頂いたお蔭で、たくさんの方々と出会い、たくさんの方に気づかされ、こうして振り返るきっかけをたくさん頂きました。ついつい目に見えるものばかりをみてしまう私ですが、子供達の頑張りや思いを一緒に感じ、子供達の成長を間近で見ることの出来た経験は、子供達がいるからこそ味わえる感動や喜びであり、母とならせて頂けた事に感謝の気持ちでいっぱい